

第8回 「堂園地区断層で8Kカメラによる撮影」

6月2日に堂園地区で、8Kカメラによる断層の撮影が行われました。

これは、堂園地区まちづくり協議会の「熊本地震で地域に出現した断層や住んでいる人々の記録を残したい」という思いに、NHK熊本放送局が賛同し実現したものです。



畑を横切る
堂園地区の断層

現行ハイビジョンの16倍の画素数を持つ8Kカメラでの撮影が行われるのは、NHKの地方局では初の試みとのこと。

国天然記念物に指定された堂園地区内の断層周辺で行われた撮影には、地域住民約20人が参加しました。



記憶は子どもたちに
受け継がれます

震災の記憶である断層の周りで遊ぶ子どもたちを、優しいまなざしで見守る大人たち。どのような映像になっているのでしょうか。協議会の田上勝志会長は今回の試みを振り返り、「話し合いばかりでなく、明るいイベントを開きたいと思っていたところ、NHKさんが協力してくれた。若い人たちにも震災の記憶や思いをつないでいきたい」と話しました。

撮影された映像は、全国のNHK放送局にある8Kモニターで試験放送として流されており、熊本放送局の8Kモニターでも見ることができます。

回復興整備課まちづくり推進室 ☎ 289-2930

振り返る 復旧・復興

男女共同参画センター

被害状況と 今後の見通し



地盤が大きく揺さぶられ杭が大きく損傷

施設の概要と 主な被害状況

【概要】 鉄筋コンクリート造2階建て726・46平方メートル
建築経過年数32年

【被害状況】 基礎不同沈下（杭本体破損）、軽運動室の床不陸、内部壁ひび割れ、玄関ドア破損 など

震災後は住まい支援の拠点

平成28年4月25日、町が「被害認定調査」「避難所対策」「住まい支援」「役場機能」の4つのプロジェクトチームを設立したのを機に、仮設住宅の建設、および完成後の入居申し込み受け付け（みなし仮設を含む）など被災者への住まい支援の拠点として「住まい支援チーム」が業務を行いました。

解体、そして複合施設へ

基礎杭の損傷が大きく、町では平成30年度中に解体する方針を決定しました。

その後のあり方については、「益城町の施設のあり方検討委員会」に諮問。同委員会から、「町にとって必要な施設である。公民館などとともに一つに複合化することが適当である」との答申書が提出されました。

それを受け、町では現在、「益城町複合施設建設検討委員会」を設置し、魅力ある複合施設となるよう機能や規模について審議・検討を重ねることとしています。

町民の皆さまが利用しやすい複合施設の建設を目指します。

☎ 286-3312
副総務課新庁舎等建設推進室